

国際広報メディア専攻

平成23年度
後 期

日本語論述

13 : 30～15 : 30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚ある。
- 3 解答用紙（25字×40行=1000字）は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題1～3のうちから1題を選択し、1600～2000字の日本語（横書き）で解答しなさい。

【問題1】

英国のブリティッシュ・カウンシルやドイツのゲーテ・インスティトゥート、フランスのアリانس・フランセーズ、また中国の孔子学院のように、海外で自国語教育の拡大や文化の伝播を目的とした施設が建設されている。このような政府主導による海外施設を設ける長所（利点）や短所（問題点）をふまえたうえで、日本は海外で日本語、日本文化の普及にどのような施策が必要と思うか、自由に意見を述べなさい。

【問題2】

「(大学以上の) 高等教育を国際化すべきである」という見解について、あなたの意見を述べなさい。その際、「高等教育の国際化」という概念の定義をまず述べ、その定義に基づいて、高等教育を国際化するための主要な課題と具体的な取り組みを論じなさい。また高等教育を国際化することによる利益・不利益を挙げて比較することで、あなたの意見を明確に説明しなさい。

【問題3】

近年、パソコン、インターネットの普及が急速に進んでいるにもかかわらず、情報格差は逆に広がっていることが指摘されている。このような状況をふまえ、1) 情報格差が生じる要因にはどのようなものがあるか、2) 情報格差はどのような問題を引き起こすか、3) 情報格差を解消するにはどのような方策が有効か、という三つの観点に言及しつつ、考えるところを述べなさい。